

第 76 回 虎屋文庫資料展のご案内

歴史秘話20「和菓子の贈りもの」展

2013 年 11 月 1 日(金)～30 日(土)

虎屋ギャラリー(虎屋ビル 2 階) 入場無料／会期中無休

地下鉄赤坂見附駅A出口より徒歩約 7 分

名物饅頭に特注の蒸し器を添えて母に送った頼山陽^{らいさんよう}。四段重の豪華な和菓子を絶賛した米国総領事ハリス。元旦に江戸城に届けられた 1.5m の鏡餅や、6 月 16 日に 2 万個の菓子を配る行事など、甘い贈りものにまつわる 20 の秘話をご紹介します。

将軍吉宗も良寛も。病氣見舞いに滋養をつける菓子

うるち米の粉と砂糖を使った白雪糕^{はくせつこう}。現在はほとんど作られなくなったこの菓子は、江戸時代には滋養をつけるのに良いとされていました。8 代将軍吉宗は、病氣の息子を持つ配下の役人に贈り、病床にあった僧良寛^{りょうかん}も白雪糕を望む手紙を残しています。

菓子が主役！！大名の贈答

幕末の名君、松平春嶽^{まつだいらしゅんがく}。京都滞在中の日記には、虎屋製と思われる子持饅頭「蓬が嶋^{よもしま}」(写真②)を貰い、福井の家族に贈ったとあります。夏に西瓜、冬には蜜柑といった果物が届いたり、名物菓子「かせいた」を熊本藩細川家から貰ったり、大名の贈答には甘い物が欠かせなかったようです。

儒学者、頼山陽の親孝行

京都に私塾を開いた、江戸時代の儒学者頼山陽^{らいさんすい}。父春水^{しゅんすい}亡き後、広島の実家を守る母梅颯^{ばいし}へ、ことあるごとに菓子を届けています。大坂の名店虎屋伊織の饅頭を送るにあたっては、よりおいしく食べてもらいたいと、蒸し器を添えています。問題を起こして家を継げなくなるなど親不孝をした山陽にとって、心尽くしの菓子はせめてもの親孝行だったのでしょ。

江戸城に巨大鏡餅がたくさん届く！？

元日の早朝、江戸城に届けられた高さ 1.5m にもなる鏡餅(写真③)。これは将軍とその夫人へ、親族にあたる尾張徳川家の正室から正月のお祝いに贈られたものです。他の親族からも同じく巨大なものが届き、その数は 30 以上になったとも。今回はこの鏡餅を高さ 3 分の 1 サイズの模型で再現しました。

贈り物にまつわる作法や形式をご紹介します

格式ある贈り物には欠かせない熨斗^{のし}や掛紙^{かけがみ}、水引^{みずひき}などについて解説します。
また、風呂敷^{ふくし}や袱紗^{ふくさ}といった伝統的な贈り物のかたちもあわせてご紹介。
風呂敷は実際に包んでいただける体験コーナーをご用意しました。

40年前の虎屋テレビCMを公開！！

昭和48年（1973）に製作された虎屋のテレビCM。一昔前の家族や贈答の雰囲気を伝える貴重な資料で、現在ではかえって新鮮な印象を受けます。

主な展示品

贈り物にまつわる再現菓子など約40点、錦絵・版本・写本ほか。

展示解説 参加自由

毎週月曜日 10:30～

講演会 参加費無料（申し込み制）

「遠山金四郎家の菓子贈答」岡崎寛徳先生（大倉精神文化研究所客員研究員）

日時 11/17（日）14:00～15:30 場所 虎屋ビル4階ホール

*参加希望人数（2名様まで）、代表者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、往復はがきで下記虎屋文庫までお申し込みください。

11/7（木）締め切り（必着）。申し込み多数の場合は抽選。

お問い合わせ先

〒107-8401 東京都港区赤坂 4-9-22 株式会社 虎屋 虎屋文庫
Tel:03-3408-2402 Fax:03-3408-4561 e-mail:bunko@toraya-group.co.jp
<http://www.toraya-group.co.jp/>

*掲載の画像につきましてはデータがございます。お問い合わせください。



①「当世全盛揃」豊原国周
吉田コレクション



②蓬が嶋



③「御献上物軌式」
吉田コレクション